関西自然保護機構会報

No.17

目　　次

巻　頭　言

自然となじみになるために－自然保護教育の方法について思うこと－……森　下　正　明……1

シンポジウム「シカと人と植物」

シンポジウム「シカと人と植物」……菅　沼　孝　之……3

シカと植物－春日山を例にして植物の側から……下　田　勝　久……5

金革山島嶼生態系とその保護－シカを中心に－……高　槻　成　紀……11

大台ヶ原トウヒ林保全の現場から……武　田　明　正……19

ニホンジカをとりまく自然と人間……川　道　武　男……23

大台ヶ原のシカと植物－その現状と課題－……三　浦　慎　悟……29

林業サイドからみたニホンジカの管理法……小　泉　　透……35

人とシカが共存できる環境づくりを！－保護運動にとりくむ私たちの経験から－

……木　下　陸　男……41

総合討論……45

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

シンポジウムへの感想……立　沢　史　郎……59

大津市長等公園付近における植生と植物相……大　谷　一　弘……61

1989年3月

関西自然保護機構

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization of Nature Conservation）

KONCはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．　基礎研究の実施
2．　シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．　現地見学会の開催
4．　研究助成金の交付
5．　会報・連絡紙の発行
6．　自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．　自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．　国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・推持会員の会費により，まかなわれています。